

## 栄養士養成課程における給食管理校外実習の充実 ～事前・事後教育を中心として～

### Enhancement of Food Service Management Off-campus Training in Dietitian Training Course ～ Around the Pre- and Post- Education ～

白取 敏江\*                      舩澤 正博\*                      辻村 明子\*  
Toshie SHIRATORI\*      Masahiro MASUZAWA\*      Akiko TSUJIMURA\*

\*青森中央短期大学 食物栄養学科

\*Aomori Chuo Junior College, Department of Food Dietetics

Key words : 校外実習、事前教育、事後教育

#### はじめに

臨地実習及び校外実習の実際（2014年版）によると、「臨地実習及び校外実習」における養成施設の役割は「専門的知識と技術の統合を図り、管理栄養士として具備すべき知識及び技能を習得させる」、「栄養士として具備すべき知識及び技能を習得させる」ために必要な教育を実習の前に行っておくことが基本となります。そして、事前準備や事前事後の教育を十分に行うことが必要です。単に学生に目的意識を持たせずに実習に出しているという認識では、教育効果はあがらないばかりか、栄養士法改正の目的から逸脱することになります。<sup>1)</sup>とある。

また、養成施設に求められることとして重要な項目を1)実習科目に関する理解の徹底、2)事前・事後教育の充実、3)実習施設との連携強化、の3つに絞って解説している。事前・事後教育の重要性としては実習の前に関連科目の履修を終えることや、事前準備に十分な時間を掛けて実習の目的や目標、実習施設の概略を学生に周知・動機付け、知識の整理、研究課題の検討等を行うことが求められている。また、実習終了後においても、それぞれの実習施設における実習内容、研究課題の報告、実践の場で学んだ事柄等の情報交換や指導等、総合的な事後教育を行い、校内での学習と臨地実習をより有機的に結び付け、知識と技術の統合に努める必要があるとされている。そのため、これらの点に、十分な配慮をすることが養成施設には求められている。

また、一週間という短い期間で、栄養士としての心構えや実践力を養う効果的な学習を行うためには事前教育が必要不可欠となっている。<sup>2)</sup>とあることや、栄養士免許取得を希望する学生に行った調査によると実に94.7%の学生が実習前に不安を持っていた。<sup>3)</sup>この原因として考えられることは事前

指導の不十分さにあるとされ、事前指導を充実させることにより、たった1週間でももっと生きた実習にすることこそ、現在できる最善の方法であるとされている。さらに、知識や技術の習得は不可欠であるが、それに加えて学生の人間的成長も重要であり、そのためには、事前・事後教育の充実や各教科との連携を深めることが必要である。<sup>4)</sup>とあることからみても、事前・事後教育の充実の重要性が窺われる。

そこで、事前・事後教育の充実、そして校外実習をより充実させることを目的とし、臨地実習及び校外実習の実際（2014年版）における事前・事後教育内容として考えられる項目と本学における事前・事後教育内容を比較することとした。

## 現状

### 1. 事前教育

臨地実習及び校外実習の実際（2014年版）における事前教育内容として考えられる項目（図1）と本学における事前教育内容（給食管理校外実習のてびきに記載）の項目（図2）を列挙し、実施されていない項目は無いか検討した。（図3）

### 2. 事後教育

臨地実習及び校外実習の実際（2014年版）における事後教育内容として考えられる項目（図4）と本学における事後教育内容として（給食管理校外実習報告会で）実施している項目（図5）を列挙し、実施されていない項目は無いか検討した。（図6）

まず、(1)各班や個人からの実習課題への取り組みへの報告と討論は(7)課題研究テーマと結果で行っている。(2)実習施設への礼状の作成は事前教育で実施済みである。(3)実習時に起きたトラブルや注意された事の報告は(6)実習で勉強になった点、反省点、1年生へのアドバイスに含まれている。(4)管理栄養士・栄養士の仕事に関する感想は行われていない。(5)実習施設の概況と特殊性（特長）は(1)施設の特徴、(2)利用者数、(3)給食運営形態、(4)給食部門の構成、(6)実習内容で行われている。

(1) 実習の最終目標、学習目標／行動目標等の説明

(2) 実習にあたっての心構え

- ① 学ぶ姿勢
- ② 意見の的確な表現
- ③ 専門職としての自覚と職業倫理

(3) 事前の準備の徹底

- ① 事前指導への出席
- ② 実習の班割
- ③ 課題の設定
- ④ 実習施設への事前訪問・提出物

(4) 実習開始時と実習中の注意

- ① 服装・身だしなみ
- ② 出勤・退勤時間
- ③ 言葉づかいや礼儀、接遇
- ④ 守秘義務

(5) 調理作業中の注意

- ① 衛生管理（感染防止対策を含め）
- ② 作業への集中
- ③ 不明な事項の確認
- ④ 怪我や事故の予防

(6) 喫食者や患者への訪問時の注意点

(7) 病気や怪我をしたとき

(8) 休憩時間の過ごし方

(9) 実習終了時の対応

(10) 実習レポートの提出

(11) 自然災害時の対応

図1 臨地実習及び校外実習の実際（2014年版）における事前教育内容として考えられる項目

## I 給食管理校外実習とは

1. 給食管理校外実習の目的
2. 給食管理校外実習の構成
3. 給食管理校外実習における参加資格について
4. 給食管理校外実習の方法
  - (1) 実習の時期及び日数
  - (2) 実習施設
  - (3) 実習指導体制
  - (4) 実習中の施設訪問
  - (5) 実習の評価
5. 給食管理校外実習の展開
  - (1) 実習前
    - 1) 事前訪問について
  - (2) 実習期間中
    - 1) 生活態度
    - 2) 出勤・退出
    - 3) 実習の取り組み
    - 4) 実習ノート
    - 5) その他

\*給食管理校外実習ノートの記入例 \*お礼状について
  - (3) 実習終了後
6. こんなときは・・・
  - (1) やむを得ず遅刻・欠席をするとき
  - (2) 実習中に事故をおこしてしまったとき
  - (3) 患者・入所者などから個別に依頼を受けたときや金品を渡されたとき
  - (4) 利用者から連絡先を聞かれたとき

## II 校外給食管理実習にあたっての心得

1. プライバシーの保護と守秘義務
2. 基本的な実習態度

図2 本学における事前教育内容（給食管理校外実習のてびきに記載）の項目

<p>臨地実習及び校外実習の実際 (2014年版)</p>	<p>給食管理校外実習のてびき</p>
<p>(1)実習の最終目標、学習目標／ 行動目標等の説明</p>	<p>I 給食管理校外実習とは 1. 給食管理校外実習の目的で実施</p>
<p>(2)実習にあたっての心構え ①学ぶ姿勢  ②意見の的確な表現 ③専門職としての自覚と職業倫理</p>	<p>5. 給食管理校外実習の展開 (2)実習期間中 1) 生活態度 II 校外給食管理実習にあたっての心得 2. 基本的な実習態度で実施 ※口頭 II 校外給食管理実習にあたっての心得 1. プライバシーの保護と守秘義務で実施</p>
<p>(3)事前の準備の徹底 ①事前指導への出席 ②実習の班割  ③課題の設定  ④実習施設への事前訪問・提出物</p>	<p>2. 給食管理校外実習の構成で実施 4. 給食管理校外実習の方法 (1)実習の時期及び日数 (2)実習施設で実施 5. 給食管理校外実習の展開 (2)実習期間中 5) その他 *給食管理校外実習ノートの記入例で実施 5. 給食管理校外実習の展開 (1)実習前 1) 事前訪問について (2)実習期間中 4) 実習ノートで実施</p>
<p>(4)実習開始時と実習中の注意 ①服装・身だしなみ  ②出勤・退勤時間  ③言葉づかいや礼儀、接遇  ④守秘義務</p>	<p>5. 給食管理校外実習の展開 (2)実習期間中 3) 実習の取り組みで実施 5. 給食管理校外実習の展開 (2)実習期間中 2) 出勤・退出で実施 5. 給食管理校外実習の展開 (2)実習期間中で実施 II 校外給食管理実習にあたっての心得 1. プライバシーの保護と守秘義務で実施</p>
<p>(5)調理作業中の注意 ①衛生管理 (感染防止対策を含め)</p>	<p>※図入りで掲載 ※口頭</p>

②作業への集中 ③不明な事項の確認 ④怪我や事故の予防	Ⅱ 校外給食管理実習にあたっての心得 2. 基本的な実習態度で実施 5. 給食管理校外実習の展開 (2)実習期間中 1) 生活態度で実施
(6)喫食者や患者への訪問時の注意点	6. こんなときは・・・ (3)患者・入所者などから個別に依頼を受けたときや金品を渡されたとき (4)利用者から連絡先を聞かれたとき Ⅱ 校外給食管理実習にあたっての心得 1. プライバシーの保護と守秘義務で実施
(7)病気や怪我をしたとき	5. 給食管理校外実習の展開 (2)実習期間中 2) 出勤・退出、 6. こんなときは・・・ (1)やむを得ず遅刻・欠席をするとき (2)実習中に事故をおこしてしまったときで実施
(8)休憩時間の過ごし方	※口頭
(9)実習終了時の対応	5. 給食管理校外実習の展開 (3)実習期間中 5) その他 *お礼状について (3)実習終了後で実施
(10)実習レポートの提出	5. 給食管理校外実習の展開 (3)実習終了後で実施
(11)自然災害時の対応	※口頭

図3 臨地実習及び校外実習の実際（2014年版）における事前教育内容として考えられる項目と本学における事前教育内容（給食管理校外実習のてびきに記載）の項目

<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 各班や個人からの実習課題への取り組みへの報告と討論</li> <li>(2) 実習施設への礼状の作成</li> <li>(3) 実習時に起きたトラブルや注意された事の報告</li> <li>(4) 管理栄養士・栄養士の仕事に関する感想</li> <li>(5) 実習施設の概況と特殊性（特長）</li> <li>(6) 実習内容</li> </ul>
--

図4 臨地実習及び校外実習の実際（2014年版）における事後教育内容として考えられる項目

<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 施設の特徴</li> <li>(2) 利用者数</li> <li>(3) 給食運営形態</li> <li>(4) 給食部門の構成</li> <li>(5) 実習内容</li> <li>(6) 実習で勉強になった点、反省点、1年生へのアドバイス</li> <li>(7) 課題研究テーマと結果</li> </ul>
---

図5 本学における事後教育内容として実施している項目

臨地実習及び校外実習の実際 (2014年版)	本学
(1)各班や個人からの実習課題への取り組みへの報告と討論	課題研究テーマと結果
(2)実習施設への礼状の作成	事前教育で実施済み
(3)実習時に起きたトラブルや注意された事の報告	実習で勉強になった点、反省点、1年生へのアドバイス
(4)管理栄養士・栄養士の仕事に関する感想	なし
(5)実習施設の概況と特殊性（特長）	施設の特徴 利用者数 給食運営形態 給食部門の構成
(6)実習内容	実習内容

図6 「臨地実習及び校外実習の実際（2014年版）における事後教育内容として考えられる項目と本学における事後教育内容として実施している項目

## 今後の課題

### 1. 事前教育

事前教育では「臨地実習及び校外実習の実際（2014年版）」における事前教育内容として考えられる項目の(2)実習にあたっての心構えの②意見の的確な表現については口頭で指導していた。(5)調理作業中の注意の①衛生管理（感染防止対策を含め）は図入りで掲載、説明していた。(5)調理作業中の注意の②作業への集中については口頭で指導していた。(8)休憩時間の過ごし方について、(11)自然災害時の対応は口頭で指導していた。これらの口頭で指導していた項目は本学における事前教育内容として実施している項目に加えると説明を忘れることが防げ、学生の再確認にもなりよりよくなるかと思われる。

### 2. 事後教育

事後教育では「臨地実習及び校外実習の実際（2014年版）」における事後教育内容として考えられる項目の(1)各班や個人からの実習課題への取り組みへの報告と討論にあたる課題研究テーマと結果では、報告は行っていたが課題テーマに関する討論はしていなかった。課題研究は学生が目的意識を持って積極的に実習に取り組み、学習効果の向上を図るために設定しているため、質疑応答を設ける等が必要ではないかと思われる。また、実習施設に関連したテーマを決め、そのテーマについて詳しく調べることにしているため、より目的意識を持って積極的に実習に取り組み、学習効果の向上を図るためにも早い段階、実習施設が決定次第等でのテーマ設定が必要ではないかと思われた。

もう一つ、(4)管理栄養士・栄養士の仕事に関する感想を入れていなかった。実習によって栄養士への認識が深まった、もっと早い段階で栄養士についての認識を深めれば動機を高めることにつながるだろう。<sup>3)</sup>とあり、本学の事後教育（給食管理校外実習報告会）では1年生も参加させているため、その1年生に対しても栄養士の認識を深め、動機を高めるためにも必要と思われた。そのため、大変だったこと、実習を終えて不足していたと思ったこと、仕事をする上で気を付けている点等を感想として話してもらい、動機付けをはかっていけばいいのではないかと思われた。また、今まではこの事後教育（給食管理校外実習報告会）終了後に1年生に次年度の校外実習に関する希望調査を行っていた。この時期はまだ校外実習に対する認識が充分でなく、2年次生の実習の感想に左右されることが多い、自分の進路にあわせた校外実習を選択し、充実した実習を行うことで栄養士の就職希望に結びつける、実習先を決定する時期は、必ずしも早く決めるのが得策ではなく、1年間の授業を終えた時点でも充分ではないか<sup>5)</sup>との意見もあり、本学でも今年度より希望調査はほぼ1年間の授業を終えたと思われる冬休み明けに行うこととした。

事後教育（給食管理校外実習報告会）の実施についても、本学では校外実習を2学年の夏季休業中に行っており、事後教育（給食管理実習報告会）は夏季休業明けの後期授業が始まる前の期間に行っていた。夏季休業明けからの短い期間での準備となり、準備に十分な時間が取れていなかったと感じた。そのため、今後は事後教育（給食管理校外実習報告会）で実施する項目についても予め事前教育の段階で説明をし、校外実習終了後速やかに事後教育（給食管理校外実習報告会）の準備に取り掛かることが出来るようにする等が必要ではないかと考えた。

今回、臨地実習及び校外実習の実際（2014年版）における事前・事後教育内容として考えられる項

目と本学における事前（給食管理校外実習のてびき）・事後（給食管理校外実習報告会）教育内容として実施している項目を列挙し、不足している項目は無いと比較した。これにより、本学における事前・事後教育の現状を把握し、今後の事前・事後教育内容について検討することが出来たと考える。今後も常に事前・事後教育内容の見直しをはかり、事前・事後教育をよりよいものとし、栄養士養成課程における給食管理校外実習の充実へつなげていきたいと考える。

## 参考文献

- 1) (公社) 日本栄養士会、(一社) 全国栄養士養成施設協会：臨地実習及び校外実習の実際（2014年版）
- 2) 中井晴美、草深みな子、谷口水穂：校外実習の事前指導における教育効果に関する研究、紀要、52, 33-44, 2004-03-20
- 3) 矢島麻由美、児玉ひろみ：学外実習における学生の現状について－栄養士教育における「校外実習」のあり方を探る－、淑徳短期大学研究紀要、47, 17-33, 2008
- 4) 鎌田久子、富永暁子、塚越恵久子、堀口美恵子、竹内知子、森岡加代、相川りゑ子、松本憲一：栄養士校外実習における学習効果の検討、大妻女子大学家政系研究紀要、48, 79-86, 2012-03-03
- 5) 中井晴美：校外実習の現状と課題：過去5年間の実習希望調査と就職状況から、紀要、56, 29-36, 2008-03-20

